

山岳遭難発生状況

(令和7年1月1日～令和7年2月9日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和6年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和7年	14	1	1	6	11	19
令和6年	21	5	0	4	15	24
前年同期比	-7	-4	1	2	-4	-5

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	6	42.9%	0	0	2	9
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	6	42.9%	0	0	2	9	11
中央アルプス	1	7.1%	0	0	1	0	1
南アルプス	1	7.1%	0	0	1	0	1
八ヶ岳連峰	0	0.0%	0	0	0	0	0
その他の山岳	6	42.9%	1	1	2	2	6
計	14		1	1	6	11	19

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	1	7.1%	0	0	1	0	1
転倒	5	35.7%	0	0	5	0	5
病気	1	7.1%	0	0	0	1	1
道迷い	4	28.6%	0	0	0	7	7
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	0	0.0%	0	0	0	0	0
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	0	0.0%	0	0	0	0	0
不明・他	3	21.4%	1	1	0	3	5
計	14		1	1	6	11	19

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	2	2	7 41.2%	0	0	0	0	0	1 50.0%	2	8 42.1%
20代	0	0	0	3	3		0	0	0	0	0		3	
30代	0	1	1	0	2		0	0	0	1	1		3	
40代	0	0	2	1	3		0	0	0	0	0		3	
50代	0	0	1	1	2		0	0	1	0	1		3	
60代	0	0	1	2	3		0	0	0	0	0		3	
70以上	1	0	0	1	2		0	0	0	0	0		2	
計	1	1	5	10	17		0	0	1	1	2	19		
比率	89.5%						10.5%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（2/3～2/9）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
2月5日	山ノ内町大字平穂 地籍の山林内	男	53	無事救出	道迷い	単独でスキー場管理区域外を滑走中、道に迷い、行動不能
2月7日	北アルプス 岩葦山	男	19	無事救出	道迷い	スキー場内のコースを滑走中、何らかの原因で管理区域外に逸脱し、行動不能
		男	19	無事救出	道迷い	
2月9日	北アルプス 地蔵の頭	男	43	無事救出	発病	単独でバックカントリーを滑走中、発病により、行動不能

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、3件の山岳遭難があり、すべてバックカントリー遭難です。

※バックカントリーは、スキー場の延長線ではありません※

「ふかふかのパウダースノーを求めて」 「新雪の浮遊感がたまらない」

「ファーストトラックを滑りたい」 「誰も滑走していない場所にシュプールを描く」

など、最高の雪質に誘われてスキー場の管理区域外へ出てみれば、そこは大きなリスクを伴う、冬山そのものです。

※安易な気持ちで、スキー場の境界線（ロープ）を越えていませんか？※

「このまま滑って行けば、いずれゲレンデや道路に出るだろう」 「ゲレンデに沿って、滑っているから大丈夫」

「誰かのシュプールがあるから大丈夫」 「下に街が見えているから大丈夫」 「SNSで情報を見た」

「みんな滑っているから雪崩は大丈夫」

など、ロープの向こう側は管理されたゲレンデとは違い、すぐに救助が向かえる場所ではありません。

※その境界線の先には、危険（リスク）がいっぱいです※

▲ 滑走に適した斜面は、雪崩斜面

▲ 胸までの新雪で、滑ることも登ることもできない

▲ 自分がどこにいるのか分からず、携帯電話も圏外で救助も呼べない

▲ 転倒したら新雪に埋まって窒息

▲ 崖や滝、沢に気が付かず、転落

▲ 立木や岩に衝突し、骨折

遭難者の中には、ビバーク装備を含め、装備品が不十分な方が多くいます。

ゲレンデの延長線で、着の身着のまま管理区域外（バックカントリー）を滑走する行為は、致命的な遭難に直結します。

ゲレンデのルールや利用規約を確認し、マナーを守って安全にスキー・スノーボードを楽しみましょう。

また、バックカントリーに出る場合には、必ず天候やルートを確認し、雪崩対策装備やビバーク装備を携行しましょう。